

(仮) 子ども若者育成支援計画策定庁内検討会  
幹事会（課長級）発言要旨

開催日時：令和元年6月3日（月）

10：00～11：30

会 場：市役所本庁舎 201 会議室

**【児童青少年課】**

- ① 若者支援として、児童館の運営と若年無業者就労支援促進事業を行っている。
- ② ひきこもっていても、生活できている若者をどう就労に結び付けていくかが課題となっている。
- ③ アウトリーチ事業と、担当者が支援者との関係性を築くことが重要だが時間が掛かり、すぐには成果が出ないと感じている。
- ④ 児童館の機能には、居場所と相談とがあり、これからあり方を検討していく。

**【障害者福祉課】**

サービスに繋がっていない若者については、自らに障害があると気付いていないケースや保護者が認めていない場合がある。生きづらさや、疎外されている、特異な目で見られるケースが増えているように思う。

**【生活自立支援課】**

- ① 不登校や高校中退者へ向けた学び直しをしようとしている援助として、訪問支援や学習支援をしている。
- ② 若者自身の支援だけでなく、親にも支援が必要だということを課題と考えている。例えば、子どもの支援をしようとしても、親が心配で家を空けられないなど。

**【農林課】**

- ① 新たに農業を始めたいという人に、新規就労者支援の補助金の制度があり、年間、300万円5年間出す制度がある。
- ② 29年度は自立支援課と組んで、ひきこもりの様な方を対象に農家に行って農業体験を実施した。

**【福祉政策課】**

- ① 社会福祉協議会が展開している地域福祉拠点と民生児童委員を所管している。
- ② 支援が必要な方のところに民生委員がいても、本人が支援を必要だと思っていない、または、行っても会えない場合もあり、支援をさせて下さいという立場で、何度も足を運んで信頼関係を築いている。

#### 【健康増進担当課】

若い女性が命落とす原因となっている乳がん、子宮がんなどをテーマに講演会をしたが、中々若い人たちが参加しない。

#### 【消費生活センター】

民法改正に伴い、成人年齢が20→18才になるのに合わせて、新入学生へのガイダンスでネットでの詐欺などの被害者にならないとともに、加害者にもならない様に啓発している。

#### 【環境政策課】

これから大人になっていく高校生など、一番エネルギーを使う世代が環境教育を受ける機会が作れるように工夫していきたい。

#### 【中央図書館】

居場所という部分でいうと、高校生から学習スペースとしての要望は継続的に出ている。

#### 【学園都市文化課】

- ①大学に通っている若者については、21大学、約10万人いて、市内在住は約2万6000人となっている。他の学生は、市外から通っている。
- ②放課後子ども教室にも学生ボランティアが参加しており、地域のボランティア活動が増えている。
- ③課題としては、マルチ商法、ブラックバイトやデートDVなどから如何に身を守るかというものがあるが、中々情報が伝わりづらい。新入生ガイダンスなどで、同じ学生が話すと伝わるということがある。
- ④学生の一番の関心事は就職であり、若者就職支援を考えていく必要がある。市内の中小企業もそうだが、市外の企業であっても、なんらかの形で八王子と関わって欲しい。
- ⑤学生にも発達障害があり、大学当局の中では、そこも困っている状況がある。